

社会資本総合整備計画

災害に強いまちづくり(防災・安全)
(大牟田市)

令和3年1月

ふくおか けん 福岡県 おおむた 大牟田市

社会資本総合整備計画

計画の名称	災害に強いまちづくり（防災・安全）（大傘田市）							重点計画の該当								
計画の期間	令和3年度～令和4年度（2年間）			交付対象	大傘田市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月豪雨により広範囲で浸水被害が発生した本市において、頻発する観測記録を超える豪雨災害に備えるため、内水氾濫等の浸水シミュレーションによる浸水想定を行い、防災上重点的かつ緊急に整備を要する地域を明確にし、行政による浸水軽減対策と併に住民の災害に対する危険性への認識を深め、住民と行政が一体となり安心安全に暮らせる災害に強いまちづくりを目指す。 															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨災害からの防災・減災を目指し、内水氾濫等の浸水想定に基づく排水対策基本計画を策定するとともに公表を行う。 															
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値		備考						
								当初現況値	中間目標値		最終目標値					
								(R3当初)		(R4末)						
	内水氾濫等の浸水想定に基づく排水対策基本計画の地域毎の公表（地区）							0地区		19地区						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	40.百万円	A	40.百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%						
交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4	R5	R6	R7			
A1	都市防災	一般	大傘田市	直接	大傘田市	都市防災総合推進事業（災害危険度判定調査）	排水対策基本計画策定	大傘田市						40.0	-	
小計										40.0	-					
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									R3	R4	R5	R6	R7			
小計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									R3	R4	R5	R6	R7			
小計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									R3	R4	R5	R6	R7			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					

社会資本総合整備計画

令和3年1月7日

計画の名称	災害に強いまちづくり（防災・安全）（大牟田市）			重点計画の該当
計画の期間	令和3年度～令和4年度（2年間）	交付対象	大牟田市	
計画の目標	・令和2年7月豪雨により広範囲で浸水被害が発生した本市において、頻発する観測記録を超える豪雨災害に備えるため、内水氾濫等の浸水シミュレーションによる浸水想定を行い、防災上重点的かつ緊急に整備を要する地域を明確にし、行政による浸水軽減対策と併に住民の災害に対する危険性への認識を深め、住民と行政が一体となり安心安全に暮らせる災害に強いまちづくりを目指す。			

交付金の執行状況

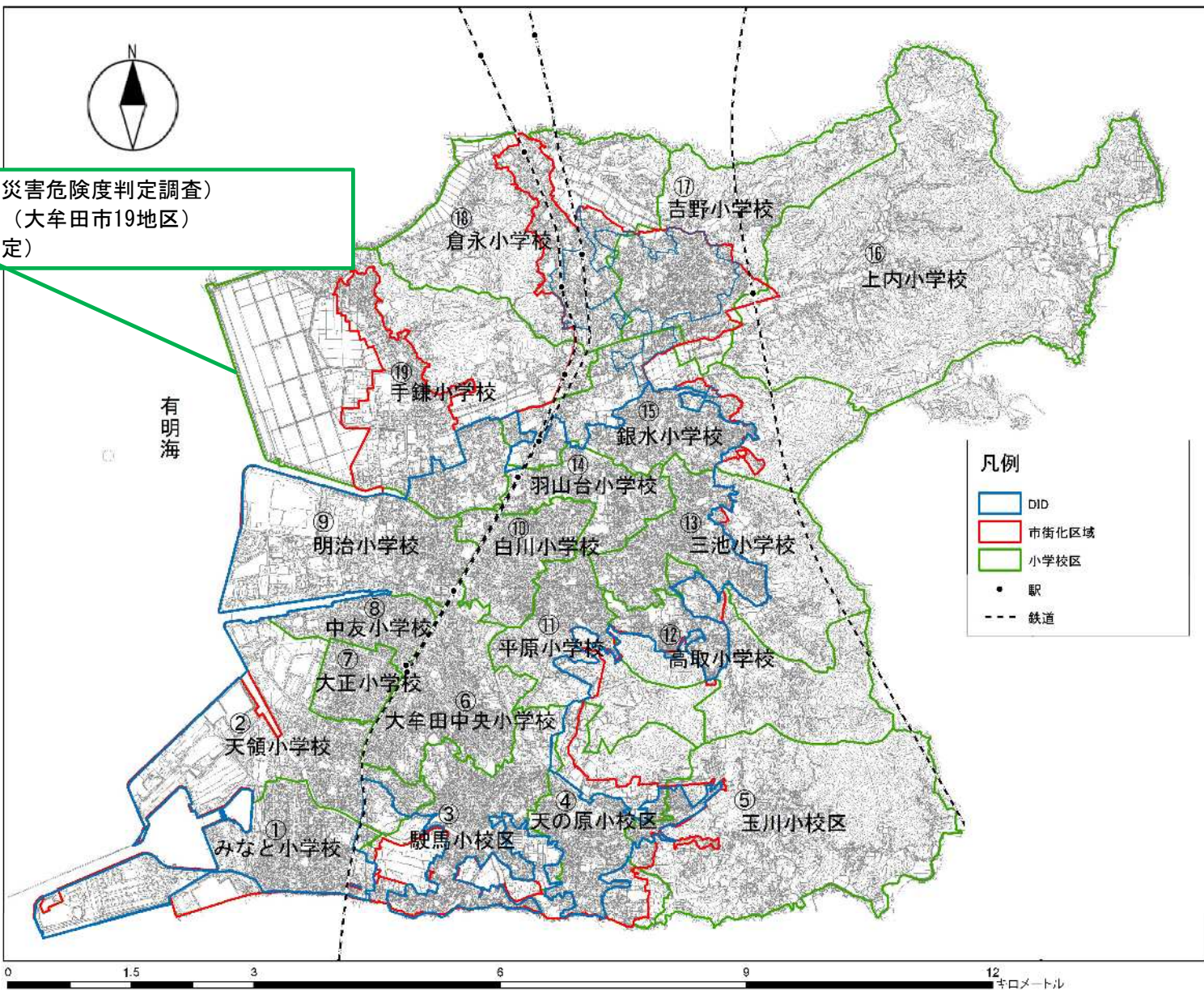
（単位：百万円）

	R3	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	25.0	15.0			
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	0.0	0.0	0	0	0
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
未契約繰越＋不用率が10%を 超えている場合その理由					

- ※ 令和 年度以降の各年度の決算額を記載。
- ※ 令和 年度は、決算額が確定でき次第記載。

計画の名称	災害に強いまちづくり（防災・安全）（大牟田市）		
計画の期間	令和3年度～令和4年度（2年間）	交付対象	大牟田市

A 1 都市防災総合推進事業（災害危険度判定調査）
 ・排水対策基本計画策定（大牟田市19地区）
 （内水氾濫等の浸水想定）



(表紙)

都市防災事業計画

災害に強いまちづくり(防災・安全)
(大牟田市)

福岡県大牟田市

令和3年1月

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

[現状]

本市は、熊本県と隣接する福岡県の南端に位置し、北はみやま市に、南は熊本県荒尾市に、東を熊本県南関町に接する。東を緩やかな丘陵地と西を干拓地や埋立地に挟まれた低平地が中央に拡がり、沿岸部は干満の差が大きい有明海に面し、潮の影響を受けやすい低平地に形成された市街地は、住宅地及び工場群が混在し、産業による発展を遂げてきた。

市街地を形成する低平地は有明海の潮位の影響を受けやすく、古くから台風や集中豪雨において高潮による海岸堤防の決壊や河川の外水、内水の氾濫を経験してきたが、令和2年7月豪雨においては、低平地に加え、東部の内陸地など市内の広範囲で浸水し大きな被害があった。

今回の令和2年7月豪雨の気象状況は、1時間雨量100ミリ近い雨が2時間以上続き、7月6日の24時間雨量は市内の雨量計で約450ミリを記録し、本市の過去の7月の1ヶ月雨量を超える観測史上最大の豪雨となった。主な被害状況は(令和2年10月現在)、人的被害が死者2人、重症者1人、床上・床下浸水等をはじめとした住家被害が全壊11件、大規模半壊1件、半壊1255件、準半壊229件などに加え、公共災害(道路、河川など)も多数発生し、市内全域で大規模な被害を受けた。

[課題]

過去より対策を講じてきたものの、本市域を流下する河川は、県が管理する二級河川7河川と市が管理する準用河川1河川、普通河川33河川があり、すべて有明海に流れていることから、平野部では満潮時には河川への排水が困難となり、内水氾濫が発生しやすい地形であることに加え、今回の豪雨では平野部、内陸部を問わず既存施設の排水能力以上の記録的な豪雨となったことから、市内全域で避難路の冠水や一部の避難所で浸水が発生し、円滑な避難ができなかった事態が生じた。

今後も毎年のように頻発する観測記録を超える豪雨に対応するため、行政による浸水被害の軽減対策と併に、地域の避難のあり方など、ソフト面ハード面での減災・防災対策を再検討する必要がある。そのためには、本市の内水氾濫特性を正確に把握し、より地域の特徴をとらえた情報を得ることにより、効果的かつ実現可能な対策を、住民と行政が一体となって講じることが急務であり、住民の安心安全な暮らしの確保を図ることが喫緊の課題となっている。

【整備方針】

近年、全国各地で集中豪雨が多発し、避けることができない大規模な自然災害から住民の暮らしを守るため、ソフト・ハードの両面での安全対策が重要であり、行政と住民が一体となった総合的な取り組みを行い、更なる地域の防災力強化を図ることが急務である。

これまで県河川の洪水浸水想定に基づき、地域が抱える危険性についてさまざまな情報発信を行い、避難のあり方等、住民と連携しながら災害への備えに取り組んできたが、今回の令和2年7月豪雨では、突然の記録的な豪雨により、想定を超える広い範囲で床上・床下浸水が発生し、避難路が平野部、内陸部問わず冠水したことで、住民の迅速な避難活動に支障となる事態となった。

このことを受け、既存の洪水想定に加え、近年頻発する観測記録を超えるような豪雨を前提とした内水氾濫等の浸水シミュレーションを行い、得られた浸水想定に基づき、地域が抱える危険度について公表することで住民の防災意識の高揚を図るとともに、防災上重点的かつ緊急的に整備を要する地域を明確にしたうえで、ソフト・ハードの両面での地域の浸水軽減対策等を盛り込んだ「大牟田市排水対策基本計画」を策定し、本市の第6次まちづくり総合プランの理念のもと、既存の各種まちづくり計画への反映や連携を行いながら、行政と住民が一体となり総合的な防災・減災の取り組み、住民の貴重な生命と財産を守るため、「災害に強いまちづくり」を推進する。

(様式2) 計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	福岡県	市町村名	大牟田市	計画期間	令和3年度 ~ 令和4年度	
担当部局名	都市整備部	担当者	(正) 徳本 智美	連絡先	TEL	0944-41-2789(内線)
	土木建設課		(副) 原 茂生		FAX	0944-41-2795
	工事第一・第二担当		係		e-mail	dobokukensetu01@city.omuta.lg.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額(百万円)	
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費
災害危険度判定調査	大牟田市	大牟田市19地区	8,145	R3	R4	1/3	40.0	13.3
合計							40.0	13.3

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

【百万円単位】

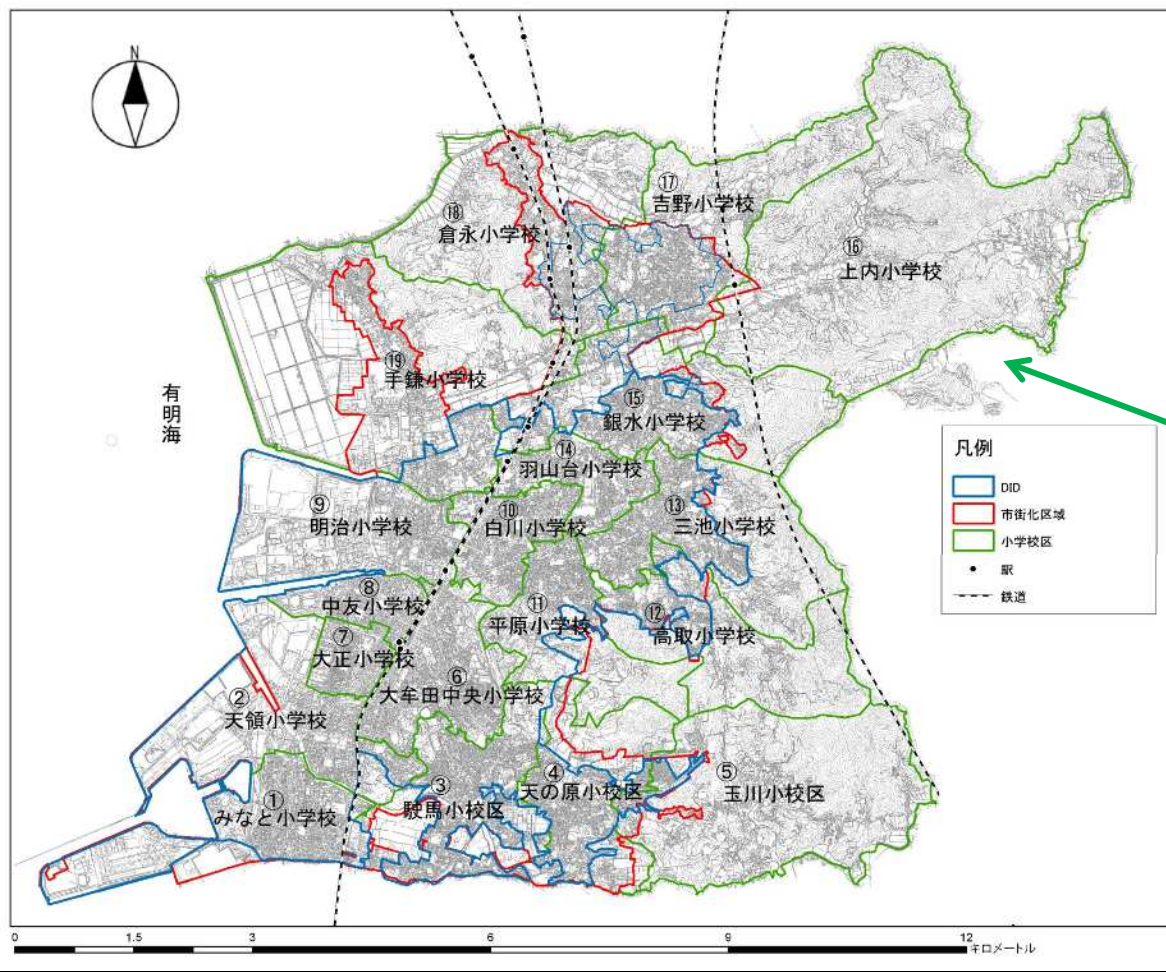
事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]								
						令和3年度以前	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度以降	計	
災害危険度判定調査	大牟田市	大牟田市19地区	排水対策基本計画策定	×	1/3		8.3	5.0						13.3
合計						0.0	8.3	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3

(様式6) 現況図 等

<p>地区名</p>	<p>大牟田市19地区 みなと小校区、天領小校区、駿馬小校区、天の原小校区、玉川小校区、 大牟田中央小校区、大正小校区、中友小校区、明治小校区、白川小校区、 平原小校区、高取小校区、三池小校区、羽山台小校区、銀水小校区、 上内小校区、吉野小校区、倉永小校区、手鎌小校区</p>	<p>面積</p>	<p>8,145 ha</p>	<p>区域</p>	<p>福岡県大牟田市</p>
------------	--	-----------	-----------------	-----------	----------------

【目的】
 豪雨災害から住民の暮らしを守るため、排水対策基本計画を策定し、内水氾濫等の浸水シミュレーションにより得られた浸水想定を住民に公表し、住民の防災への意識向上を図ると共に、効果的な浸水被害軽減のための対策を抽出し計画的に実施することで、行政と住民が一体となって防災・減災に取り組み災害に強いまちづくりを実現する。

【計画概要】
 大牟田市排水対策基本計画を策定し、地域が抱える防災・減災に向けた課題を抽出し、災害の危険度特性を小学校区ごとに示し、また、課題解決に向け重点的かつ緊急的に取り組む施策を明確にする。



排水対策基本計画策定
 (災害危険度判定調査)

- ・対象区域: 大牟田市19地区
- ・対象面積: 8,145ha

・対象地区内訳(小学校校区): 19地区

- ①みなと小校区
- ②天領小校区
- ③駿馬小校区
- ④天の原小校区
- ⑤玉川小校区
- ⑥大牟田中央小校区
- ⑦大正小校区
- ⑧中友小校区
- ⑨明治小校区
- ⑩白川小校区
- ⑪平原小校区
- ⑫高取小校区
- ⑬三池小校区
- ⑭羽山台小校区
- ⑮銀水小校区
- ⑯上内小校区
- ⑰吉野小校区
- ⑱倉永小校区
- ⑲手鎌小校区

事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強いまちづくり（防災・安全）（大牟田市）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	○
II. 計画の効果・効率性	○
III. 計画の実現可能性	○